

平成28年度「地域とともにある学校づくり」  
推進フォーラム（長野会場）

コミュニティ・スクールの  
具体的な導入の在り方・充実に向けた方策



祭御輿担ぎ



老人ホーム  
クリスマス会

山口県山口市教育委員会

平成28年11月17日（木）

ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）中ホール

事例発表の概要

山口市2校の実践

- 1 山口市立仁保中学校の取組（H24～27）
  - ① コミュニティ・スクール導入の意義
  - ② 平成24年度～27年度に至る経緯と取組（「0からのスタート」）
  - ③ 成果と課題（生徒の変容）
- 2 山口市立湯上中学校の取組（H28～）
- 3 おわりに

# 仁保中学校

山口市東部の山間部

全校生徒61人



生徒



住民約3,000人

幼保小中1校

カリオンの鐘  
天体望遠鏡

立ち止まって  
あいさつと会釈

素直 謙虚



## 保護者・地域の様子

地域の教育力は大きい  
地域行事へのボランティア  
依頼は多い

学校教育への  
期待は大きい



警察学校  
柔道教室

体育館が耐震補強から  
陳情で新築へ



道の駅誕生15年祭

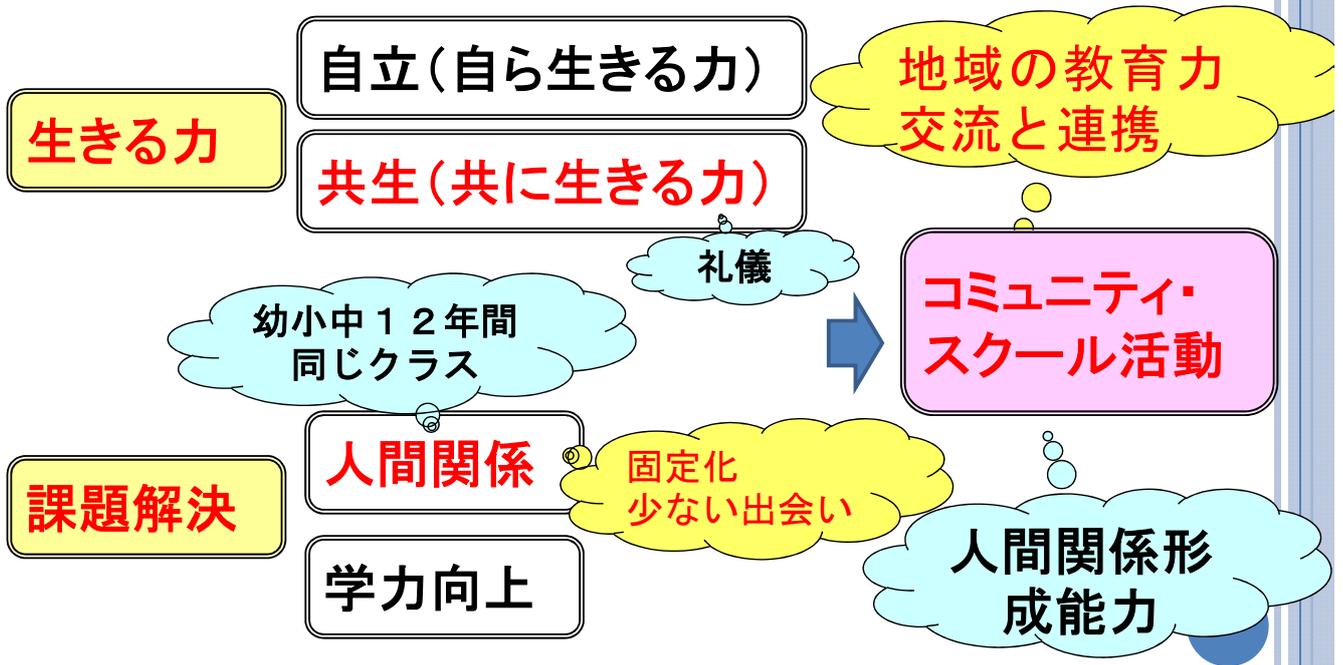


KDDIと山口大  
電波望遠鏡操作  
体験

5000光年先の電波

## コミスク導入の意義①(学校課題の解決)

### 未来の自己実現をめざした人間形成



## コミスク導入の意義②(地域課題の解決)

消滅可能性地域

### 故郷の次世代を担う人材育成

学校と地域との連携・交流

故郷を支える 子どもの育成

地域の良さ、伝統・文化を知る

子どもは地域で育ち 地域は子どもで結ばれる

故郷や母校を 誇りに思う心・愛着

大人になってからも 故郷に住みたいと思う心

◎学力向上

- ・山口大学生学力サポート (6/23)
- ・県大生の学校体験 (5~7月、12~1月で50人)
- ・星空教室(年6回)
- ・警察学校での柔道授業(11/10,12,13)
- ・野鳥観察会(1/27)

◎キャリア教育

- ・紅茶作り(5/26)梅シロップ作り(6/11)
- ・ゆかた教室(6/18)桃のおやつ(7/8)
- ・南極観測経験者による講演会(8/6)
- ・電波望遠鏡操作体験(8/6)
- ・KDD講演会カレー作り(8/6)
- ・地区運動会の売店(10/25)
- ・地域の伝統文化の継承(12/25)
- ・百人一首大会の読み手(1/9)
- ・茶道教室(2/4,18) ・外郎づくり(2/15) ・職業人に学ぶ会(2/25)

◎命や人権

- ・「小さな親切運動」実行委員会
- ・地域のお年寄りへのメッセージ (弁当 10/28、桜餅 3/2)
- ・「地域との繋がり」作文を敬老会不参加者への配布(10/23)
- ・地域のお年寄りへの年賀状 (12/14) 返事を生徒に配布(1/14)
- ・幼児とのふれあい学習(6/8,11/11)
- ・老人ホームボランティア(12/23,28)
- ・手漉き和紙の卒業記念額(12/21)

◎地域・学校行事での交流

- ・蛙のはりの掲揚と川作り(4/4,5/6)
- ・仁保開発協議会での依頼(6/26)
- ・仁保夏祭りのボランティア(8/14)
- ・24時間テレビ基金(8/22,23)
- ・農業祭りのポスターと標語提出(9/9)
- ・敬老会ボランティア(9/19)
- ・舟山祭りボランティア(9/27)
- ・道の駅15周年誕生祭(10/10)
- ・敬老会不参加者へ作文配付(10/23)
- ・大農業祭りボランティア(11/1)
- ・井開田天神祭り(11/29)
- ・方面山登山(1/1)
- ・どんど焼き(1/9)

◎環境整備・美化活動

- ・河川清掃(6/29)
- ・式典の生け花(8月)
- ・「伝統文化を学ぶ会」開設(12/25)

◎仁保協育ネット

- ・コーディネーター3名委嘱
- ・小学校への出前授業(4・2月)
- ・幼保小中合同
- ・保育園隣接
- ・中3

◎会議

- ・企画推進部会 (12回、毎月第1水曜日)
- ・学校運営協議会(3回)
- ・生徒コミュニティ・スクール委員会 (4/9 発足月1回、實近さん参加)
- ・仁保大夏祭り大会実行委員会へ生徒コミスク委員参加(6/4)

- ◎情報公開 ・コミスクだより(12号発行) ・ホームページ更新(6/23)
- ・コミスクコーナーの更新 ・「仁保地域新聞」作成(4/13,2/5 発行)
- ・研修視察(高知県香美市、7/6) ・山口、毎日新聞掲載
- ・地区大運動会売店(10/25)

6つの部会  
207の取組

取組のキーワード 学校支援 地域貢献 学校運営

平成24年度～平成27年度の経緯

H24年 (12)

H25年 (64)

H26年 (119)

H27年 (207)

取組事業数

- 1 「誰かがやらなければ・・・」(H24. 4)
- 2 組織の立ち上げ(H25. 5)
- 3 生徒企画のボランティア(H26. 4)
- 4 生徒コミスク委員会(H27. 4)
- 5 コミスク委員企画の講演会(H27. 8)

「0」からの  
スタート

# 1 「誰かがやらねば・・・」

- ・ コミスク指定 活動や地域との連携はほとんどない
- ・ 「コミスクとは何?」「何のために何をどうやって?」

「百聞は一見にしかず」研修視察

H24. 4

京都御池中学校

800人  
5・4制度

生徒に珊瑚礁  
を見せよう!

萩市田万川中学校

市立図書館  
が校舎内

周防大島町東和中学校

東和中の9月熟議参加

福岡春日西中学校

800人  
生徒指導困難校

教育は人なり  
毎月熟議  
具体策を考える人

H25. 3

## 2 組織の立ち上げ

H25. 4

資料 P2

学校運営協議会

(学期に1回)

学校経営方針の承認  
進捗状況への意見

企画推進部会

(毎月1回)

具体的な活動  
計画立案 実践

何をすればいいのかわからない

毎月参加したい

H25. 5

コミスク委員会

- ・ 毎月第1水曜日 18:30~20:30
- ・ 会の進行を校長から**会長**へ

できることを  
できる人  
からやろう

### 3 生徒企画のボランティア

- ・こいのぼりの片付けがあれば参加したい (4/9)
- ・こいのぼりレスキュー 地域交流センターへ届け

H26. 4

4/5取り付け



5/6片付け

学校企画→生徒企画

ボランティア  
活性化

### 4 生徒コミスク委員会の活動

- ・コミスク委員6名による活動

H27. 4

1月に1度  
コミスク活動の計画

毎日打ち  
合わせ

掲示板で  
活動報告



ボランティ  
ア募集

幼保小合同運動会に49名

資料 P4



夏祭り実行委員会

夏祭りゲームの司会



## 5 コミスク委員企画の講演会

資料 P5

- ・ 南極観測経験者（大越さん）講演会
- ・ KDDI職員とコーディネーター企画

H27. 8



昼食はカレー

南極の氷  
2万年前の空気

# 成果

敬老会作文(対象者600人に生徒が配付)

資料 P6~7

- ①自己有用感
- ②ボランティア活動に対する意識の変容

- ③望ましい人間関係
- ④地域貢献と学校支援はうらおもて

ありがとう  
助かった

「お疲れ様」  
「頑張って」と  
いう温かい言葉

ボランティアでいい気持ち。  
助けるはずの私が、いろ  
ろな人から助けられている

豊かな心

## ⑤ 「次世代」を担う 人材育成

「仁保大農業祭」  
司会・発表

資料 P8~9



作文発表

# 山口県中学校英語暗唱・弁論大会 第5地区予選会



コミスク活動の意義や目的 活動の様子  
成果と課題 将来の夢(大人のコミスクリーダー)

ふるさとの後継者として誇りをもち  
胸を張って帰れる大人になりたい



作文を書いた心境

変わらぬ  
故郷への思い

## 課題

- ① 事業内容の精選
- ② 取り組み方の見直し
- ③ 地域一体となったコミュニティ・スクール活動の推進（行政との連携）
- ④ 年間事業計画と基金の執行計画
- ⑤ 平日の定期的な地域交流  
（コムスクールの活用）
- ⑥ 継続できる組織や制度の整備
- ⑦ コミスク活動の意義や良さに基づいた保護者や教職員の意識改革

試験週間に募集があると参加できないが気になる

企画段階からの関わり

教職員の  
人事異動

自己肯定感の高い生徒の学力は高い

# 潟上中学校

平成28年4月

山口市南部の田園地帯

3地域の小学校

136名

素直 温和

地域住民約6,500人

学力の2極化

家庭学習不足

対話力

気力・覇気



## 協育ネットコーディネーターの連携(4名)



名田島小

鑄銭司小

陶小

コミスク活動  
計画の立案

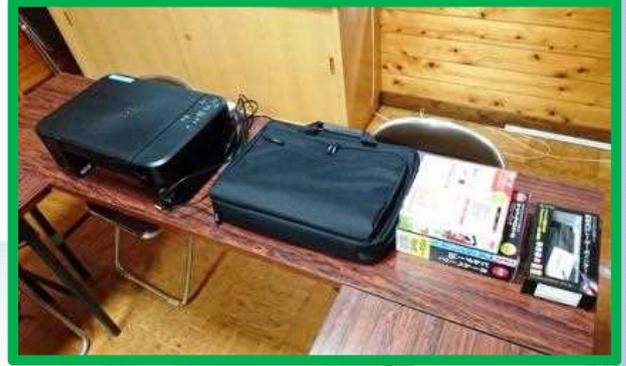
ボランティア活動  
学校支援活動  
の連絡調整

活動予算  
66万円

潟上中

# コミスクルームの整備

活動場所の確保  
地域の方々の集いの場



パソコン プリンター  
コピー インターネット  
電話 湯茶 会議 事務  
活動計画 準備 広報

# 名田島ちょうちん祭り

7/23 (土)  
14名参加

おばけ屋敷



ボランティア楽しい

金魚すくい  
ヨーヨー釣り



# 鑄銭司子ども教室（寺子屋）

6 / 19（日）  
より4回開催

鑄銭司の未来を  
考える



小5・6年生  
中1・2年生  
合計20名

サークル体験  
平日の活動を  
めざす



## おわりに

## 地域とともにある学校づくり

生きる力  
人間関係作り

### 究極の幸福

地域の発展  
次世代の育成

## 学校

人に愛されること  
人にほめられること  
人の役に立つこと  
人に必要とされること

## 地域

### Win - Win の関係

ありがとう

笑顔

すべての人の  
夢や希望の実現

地域と学校  
国の発展

